



学校だより

校訓 明るく 素直に たくましく

内灘町立向栗崎小学校

校長 柚木 伸介

令和3年1月28日

本当の幸せ と うその幸せ

新しい年が始まって、ひと月が過ぎました。1月上旬の3連休中の暴風・大雪の折には、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげで、子どもたちはがんばって登校し学習することができました。悪天候の中の見守りや除雪等、本当にありがとうございました。

今月は「本当の幸せ」と「うその幸せ」についてのお話です。人は誰も幸せになりたいと願い、学習し、仕事し、友達と遊び、食事し、趣味を充実させて毎日を過ごしていると思います。不幸せを望んでいるということはありません。

その、誰もが願う「幸せ」には「本当の幸せ」と「うその幸せ」があります。見分け方はシンプルです。

- ・「本当の幸せ」 → いつも楽しい みんな楽しい
- ・「うその幸せ」 → 今だけ楽しい 自分だけ楽しい

楽しさを基準にして区別すると、このように分けられるでしょうか。

子どもたちが本当の幸せにつつまれているか、考えてみましょう。例えば、ゲームをずっとしていたりテレビをずっと見ていたりしていれば、その時は楽しいでしょう。「今だけ」楽しいわけです。それがずっと続くと勉強もする時間もなくなるし、家のお手伝いもできません。睡眠時間

間が少なくなれば体の調子もくずしてしまいます。「いつも」楽しくするためには、趣味の時間や遊ぶ時間をしっかり決めて、学習や手伝い、睡眠等の時間も守って毎日を過ごすことが、いつも楽しい「本当の幸せ」につながるはずですよ。



なわとび運動
6年生が1年生に教えています



5年生
「6年生ありがとう会」の準備

「自分だけ」楽しいのは、どんな時でしょうか。友達にいじわるしたり、人の失敗を笑ったり、また自分だけ得をすることがあると、ひょっとしてその時だけ「楽しい」気がするのかもしれませんが、でも、それは「自分だけ」です。また、学校や家で「自分だけ」好きなことをして、友達や家族に迷惑をかけていることがあるとすれば、それも「自分だけ」楽しい「うその幸せ」です。自分のやりたいことばかりするのはなく、周りの人の気持ちを考えて行動していけば

「みんな楽しい」につながります。「本当の幸せ」は、自分の行動によってみんなが楽しく、幸せになります。

上記に挙げた「本当の幸せ」と「うその幸せ」はほんの一例です。学級や学校、家庭や習い事でいろいろな「本当」と「うそ」の幸せがあるのではないのでしょうか。「みんな楽しいか？ いつも楽しいか？」をふり返って考えてみてもよいかと思います。学校での子どもたちの様子を見てみると「いつも楽しい、みんな楽しい」が行動に表れている子は幸せそうで、一つ一つの行動や言葉が輝いています。

向栗崎小学校の子どもたちが、本当の幸せをつかむために、「今だけ、自分だけ」楽しもうという気持ちではなく、「いつも、みんな」楽しめるように自分の行動を考えて、学校でも家庭でも毎日輝いて過ごせることを願っています。

新型コロナウイルス感染症への対応について

毎朝、お子さんの健康観察をしていただきありがとうございます。現在、石川県には「感染拡大警報」が発出されており、毎日のお子さんの健康観察はより一層大切になっております。今後も引き続きご協力をお願いいたします。残念ながら、連日、チェック票忘れや登校途中に落としてしまう子が後を絶ちません。学校でもその都度お子さんに声をかけておりますが、ご家庭でも一声かけていただけるとありがたいです。先日、メールでもお知らせしましたが、①児童本人の感染が判明した、②濃厚接触者に特定された、③同居家族が濃厚接触者に特定された、またはその可能性がある（PCR検査等）場合は、必ず学校に連絡をお願いします。夜間、土・日は、新型コロナウイルス感染症についてのご連絡に限り、学校にお電話ください。管理職に転送されます。その際、詳しい症状や感染拡大を防ぐために行動履歴等をお伺いすることもありますので、ご協力をお願いいたします。

教育相談

【スクールカウンセラー】

金曜日 9時～12時 平口先生

5日・12日・19日・26日

面談希望は、学校までご連絡を(☎076-238-3054)

【町教育センター】

13時半～15時半

西本先生 4日・18日(木)

橋本先生 12日(金)・26日(金)

面談希望は、町教育センターまでご連絡を

(☎076-286-5481)

6年生ありがとう会について

2月19日(金)に、「6年生ありがとう会」を行います。毎年、保護者の皆様も子どもたちも楽しみにしている行事ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受けて、保護者の皆様の参観についてはご遠慮いただき、児童のみで開催させていただくこととしました。当日は、主人公の6年生と会を運営する5年生は、常時、体育館で参加し、1年生から4年生は、自分たちの出番に体育館へ行き、6年生への感謝の気持ちを出し物に込めて表現し、終わったら教室へ戻るといった形になります。子どもたちの出し物等見る機会を楽しみにしていたと思いますが、ご理解のほどお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

昨年末の保護者懇談の折に、職員室横で行った「赤い羽根募金」へのご協力ありがとうございました。集まった募金総額1500円は、内灘町の社会福祉協議会にて有効活用されます。また、4年生が総合的な学習の時間の一環として取り組んだ「はがき・切手・テレホンカード」の回収にもご協力ありがとうございました。集まった総数は、「はがき447枚、切手45枚、テレホンカード36枚」でした。お寄せいただいた皆様の善意が視覚障害者の方々の支援に有効に活用されます。

GIGA スクールって？ (Global and Innovation Gateway for All)

GIGAスクール構想とは、次世代を生きる子どもたちの育成に向けて、学校現場に1人1台の教育端末や高速ネットワークの整備などを進める計画のことです。これからの時代は、人工知能やAIをはじめとする仮想空間と現実空間が融合されたものとなり、このような社会をよりよく生きるための力が子どもたちに求められています。GIGAスクールの整備により、遠隔教育も可能になり、遠くで学ぶ子どもたちと教室にしながら交流が可能になったり、webでつながったゲストティーチャーから指導を受けたりと様々な可能性が開いて

いきます。また、個別の課題に応じたデ

ジタル教材によるドリル学習なども進められることとなるようです。子どもたちに次世代を生きるためにどんな力をつけてあげられるようになるのか、まだまだ手探り状態ですが、本校の職員は、先日より端末の操作方法や、授業の中で有効に活用する方法等について研修を積み重ねています。今週より、いよいよ、本校でも実際に子どもたちが端末に触れる学級が見られるようになってきました。



